



ほけんだより

10月



令和5年 10月 白鳥保育園 看護師

10月に入り朝夕は涼しくなってきましたが、日中はまだまだ暑い日が続いています。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期でもあります。手洗いなどの感染症対策や衣服の調整などを行い、予防に努めましょう。

尿検査のお知らせ

◎検査日：10月12日（木）・10月13日（金）

◎提出する日の朝、起きてすぐの尿を取りましょう。

◎朝9時までに提出をお願いします。

* 体調不良などで検査日に提出が難しい方はご相談ください。

インフルエンザの 予防接種が始まりました

2回の接種が必要

小さな子どもは免疫がつきにくいので、2回の接種が必要です。効果を十分に上げるためには、1回目の接種と2回目の接種の間は4週間あけるとよいと言われています。

効果が十分に出るのは2回目接種から約2週間

乳幼児は有効な免疫ができるのに2回目接種から2週間かかります。

効果は約5か月間持続する

インフルエンザの予防接種の効果は、約5か月。10月から接種すれば、流行の始まりからしっかりカバーできます。

10月からインフルエンザの予防接種が始まります。予防接種の特性を知って、早めに受けましょう。



→ 10月中に1回目の接種を受けましょう

9月の感染症

- ・手足口病（分園8名）
- ・ウイルス性腸炎（分園1名）
- ・インフルエンザ（本園1名）

知っておきたい 子どもの目のトラブル

目はとてもデリケートで何気なく触っただけでも細菌やウイルスが侵入する恐れがあります。目の以上に気付いたら早めに病院を受診しましょう。

こんなときは要注意



目をこする、まばたきが多い

かゆいときや痛いときは、手で目をこすったり、まばたきが増えたりします。



涙でうるうるする、充血している

目を覆う結膜に炎症が起きていると、涙が増えたり、充血したりします。



目やにが増える

涙や分泌物が増えるために、目やにが増えます。

流行性角結膜炎（はやり目）

ウイルスが結膜に感染し、炎症を起こします。目やにが増えたり、白目が充血したりするほか、黒目に白い膜ができることがあります。感染力が強く、うつりやすいため、「はやり目」とも呼ばれます。

うちでは……

タオルや寝具を介してうつることがあるので、**タオルの共有は避け、枕カバーやシーツをこまめに交換**しましょう。

ウイルスのついた手で目に触ると感染するので、**こまめに手を洗う**ことも重要です。

登園再開の目安 結膜炎の症状が消えたこと

麦粒腫（ものもらい）

まぶたに細菌が感染して、目の縁やまぶたが赤くはれます。目がゴロゴロしたり痛みが出たりしますが、子どもはうまく言えません。まぶたがはれているときや目をしきりに触るときは受診しましょう。

うちでは……

ほかの人にうつることはなく、薬を正しく使えばすぐに治ります。ただ、目を触るとぶり返したり、長引いたりすることもあるため、**目を気にするそぶりがあるときは、冷やしたタオルを目に当ててあげ**ましょう。かゆみや不快感がやわらぎます。

登園再開の目安 人にうつらないため、目を休む必要はありません

※上記の症状がある場合は眼科、もしくは小児科を受診しましょう。